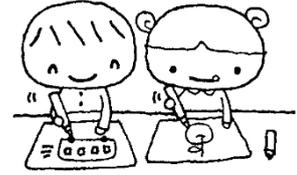


おひさま



令和4年3月15日

<今学期の満3星4組さん>

○作品展のセッティングをしたよ

1枚ずつ雑巾を配り、部屋の掃除をしてから、セッティングするようにしました。「お茶こぼしたね。」「ごはん、こぼしたね。」と口にしながら、ゴシゴシと床を拭いていました。成長を感じました。その後、作品を一つ一つ子どもたちの手で置いて行きました。一つ置き終わると「わー」と歓声を上げていました。「すごいね。」「できたね。」と全員が「自分で作った。」と感じている様子でした。

○お誕生会をしたよ

クラスでお誕生会をしました。お誕生日の子に「何歳になりましたか？」と質問すると「3歳」と答えました。そうしたら、クラスの他の子どもたちが「私も」「僕も」「同じだー。」と喜んでいました。とても、微笑ましかったです。

満3歳のお友だちが、3月で22人になりました。一つのクラスとして、落ち着いて、立派に集団生活ができるようになりました。大きくなったね。

<今学期の年少星組さん>

○チューリップから鬼が折れたよ

折り紙で鬼を作りました。鬼を作る途中、チューリップの形ができると、「あ、チューリップだー。」と喜んでいました。仕上げにもう一か所折って鬼が完成すると「鬼になった。」とびっくりしていました。節分の会の鬼を思い出しながらも、「優しい鬼にしよう。」「豆を投げられて泣いている鬼にしよう。」「女の子の鬼にしよう。」イメージを膨らませていました。

○雪組さんにプレゼントを作ったよ

雪組さんへのプレゼントでは「お姉ちゃんにあげたい。」「丁寧に作らないと。」「キラキラにしよう。」とありがたい気持ちを込めて作っていました。いつもは、早くおわらせてしまう子も、他の子も、時間をかけて、折り紙に指のアイロンをかけたり、のりをつけたりして、作っていました。雪組さんへの感謝の気持ちが強いのだと感じました。うれしかったです。

先日、子どもたちの背が、すーと高くなっているのに気づきました。1年の成長は大きいです。子どもたちとの1日1日を大切に過ごしていきたいです。

<今学期の年中花組さん>

○節分の豆まきをしたよ

前日に、みんな、お腹の中に鬼がいるんだよ。めんどくさがりの鬼、怒りんぼの鬼、泣き虫の鬼、いろんな鬼がいて、節分の日には、自分のお腹の中の鬼をやっつけるんだよという絵本を読みました。今日は一人一人自分の中にどんな鬼がいるか教えてくれました。でも、鬼が登場すると、こわがって、友達と手をつなぎ逃げていました。鬼が部屋からいなくなると「遠くから投げても当たった。」「こわかったね。」「でも、泣かなかったよ。」「豆がまけたから、お腹の中の鬼、やっつけれたかな。」と言っていました。

○はじめてひらがなを書いたよ

ひらがなのワークでは、初めて字を書きました。一面のひらがなです。「はらう」が難しそうでしたが、諦めずにていねいに書いていました。慎重すぎて手が震える子がいたり、何度も消しゴムで消したり、みんな、とても真剣でした。

いっぱい身体を動かし、いっぱい頭を働かせ、体も心も頭も大きく成長した花組さんです。雪組さんへのあこがれを持ちながら、進級します。4月にすてきな雪組さんになって園で会えるのが楽しみです。

<今学期の年長雪組さん>

○作品展みんなで協力したよ

グループ制作では、子どもたちが廃材から「これ、手になりそうかな。」「これ、首にどう。」と話し合いながら選びました。組み立てでは自分たちで順番に並んでボンド水をつけるように工夫したり「ここ、まだだから、貼って。」と声を掛け合ったりしていました。色塗りでは塗りにくい場所で塗っている友だちに「こっちにおいで。」と声を掛けたりして協力して作りました。

子ども同士の話し合いは、なかなかまとまらず、時間もかかりましたが、自分たちで、話し合っ協力して作ることができました。こんなことまで、自分たちでできるのだと、成長を感じた作品展でした。

○最後の自由遊びディ

最近、戸外遊びの時、集団遊びを好んでやっています。「入れて」と言いながら、毎日遊びの輪が広がっています。今日は自由遊びディで、午前中いっぱい遊べるので、「こおりおにやりたい。」「かくれおにやりたい。」「ケイ泥やりたい。」「ドッジボールやりたい。」というやりたい遊びが、いくつか出たらお友だちの中から「順番にやっていこう。」という意見が出て、たくさんの種類の遊びを順番に男女仲良く楽しんでいました。大満足のみんなでした。

先日、ひな祭りの音楽会がありました。みんなの心が一つになった歌声も、歌うときの態度もとても素晴らしく、年長さんの成長を感じました。何か困った時、悲しくなった時、とっても嬉しいことがあった時、いつでも上島幼稚園を訪ねてきてください。私たちは、いつでも待っています。お友だち、おかあさん、おとうさんを、いつでも応援しています。